

# いきいき通信

大船渡市男女共同参画情報  
2021秋号  
いきいき通信では、年2回男女共同参画に関する情報をお知らせします。

編集／大船渡市協働まちづくり部男女共同参画室  
(〒022-8501 岩手県大船渡市盛町宇津野沢15 / ☎0192⑦3111(内線278) / ㊚0192⑦8878)

## 男女共同参画に係る図書展・パネル展を開催

### ■男女共同参画関連図書展

国では6月23日から29日までを「男女共同参画週間」、岩手県では6月を「いわて男女共同参画推進月間」としています。

市では、この期間に合わせて6月12日から27日まで、市立図書館において「男女共同参画関連図書展」を開催しました。

会場では、岩手県男女共同参画センターが作成した啓発パネルにより、性の多様性などについて情報を掲示したほか、子どもにも分かりやすい絵本などの関連図書を展示しました。

また、男女共同参画社会の実現に向け、市内でさまざまな活動を行っているおおふなと男女

共同参画「うみねこの会」の活動記録なども紹介しました。展示した図書については、市立図書館で貸し出ししています。気軽に問い合わせください。

### ■男女共同参画関連パネル展

ワーク・ラフ・バランス（仕事と生活の調和）や、DV（家庭内・恋人などへの暴力）の防止などを図るため、啓発パネルを展示する活動を実施しています。

本年度は図書展のほか、サン・リアで9月21日から10月4日までパネルを展示しました。

また、市内の高校においても、展示を実施します。



## 女性のための相談スペース「ミモザ」を開設しています

岩手県では、コロナ禍で孤立し、困難や不安を抱える女性の社会とのきずなや、つながりの回復に向け、電話や電子メールで気軽に相談できる「いわて女性のスペース・ミモザ」を開設しています。開設した2カ所「ミモザ北」、「ミモザ南」のどちらでも相談を受け付けています。

■相談・予約・問い合わせ先  
・ミモザ北



ミモザ  
ホームページ

(☎090-6457-7887/iwate.mimosa@gmail.com)

・ミモザ南  
(☎090-1375-4103/sodan@manmaru.org)

### ■市は、ミモザの開設と連動して、生理用品の無料配布を行っています

- ▷配布場所＝市役所本庁子ども課
- ▷対象者＝支援を必要とする人
- ▷配布物＝昼・夜用ナプキンのセット（数量に限りがあります）
- ▷その他＝申請や手続は必要ありません。

**笑って考えよう！家庭のこと、仕事のこと、未来のこと**  
**～男の家事が社会を救う～**

岩手県主催の「いわて男女共同参画フェスティバル2021」で、テレビ番組にも出演している、東京大学大学院総合文化研究科の瀬地山角教授が、家事や子育てと仕事の両立について講演しました。

現状、共働き世帯における男性の家事関連時間は、女性の5分の1ほどです。パートナーに求める条件は、男女とも「人柄」の次に「家事・育児の能力」を挙げており、また、専業主婦となることを希望する割合は、男女共に年々減少し、10%を下回っています。

つまり、男性は、女性へ家事・育児の全般と就業することの双方を期待し、それに対して女性は、男性へ家事・育児の能力を望んでいることとなります。

また、瀬地山教授は、家族の「誕生」と「死」は、人生の重大事件として同等であるため、男性が産休を取得することは、忌引きと同様に、社会的に当たり前として認知されるべきと述べています。



**女性に対する暴力をなくす運動について**

暴力は、性別・年齢・間柄にかかわらず、決して許されるものではありません。

特に女性に対する暴力は、男女共同参画社会を形成していく上で重要な課題であり、国では、毎年11月12日から25日までを「女性に対する暴力をなくす運動」の期間と定めています。

この運動のシンボルである「パープルリボン」には、「女性に対するあらゆる暴力をなくしていこう」という意味が込められています。

市内では、11月14日(日)に、サン・リアおよびマイヤ大船渡店において、パープルリボン啓発活動を、いわて男女共同参画サポーターの会気仙ブロックとおおふなと男女共同参画「うみねこの会」が共同で実施する予定です。

全国DV相談ナビ  
☎#8008  
性犯罪関連支援センター  
☎#8891

## 第4次大船渡市男女共同参画行動計画

### 目標指標の直近の実績値をお知らせします

目標指標（一部抜粋）	R4末目標値	直近の実績値
市の審議会などにおける女性委員登用率	40.0%	37.1%(令和3年度当初)
いわて男女共同参画サポーター認定者数	33人	33人(令和3年度当初)
「性別による違いが個性や能力を発揮する上で制約になっていない」と答えた市民の割合	50.0%	48.9%(令和2年度調査)
「仕事と子育てが両立できる環境にある」と答えた市民の割合	50.0%	28.5%(令和2年度調査)
「DV被害などについて相談窓口があることを知っている」と答えた市民の割合	50.0%	34.6%(令和2年度調査)



## おおふなと男女共同参画

### 「うみねこの会」活動報告

「うみねこの会」が中心的役割を担い、市民有志で立ち上げた「子ども食堂実行委員会」の活動について紹介します。

子どもたちの健やかな育成を願い、平成30年度からスタートしたこの活動は、地域住民や団体などから食材の提供や運営について協力いただき、無料または安価で食事を提供しています。

こどもの日の5月5日、コロナ禍に対応した「お弁当配布会」として、大船渡高校の生徒4人を含む約30人のボランティアスタッフが、約50人の子どもたちへお弁当を提供しました。

本来は子どもたちの居場所づくりや、生活困窮者支援のために始めたことから、「食堂」として再開することを目標に、今後も活動を続けていきます。また、参加した高校生に対しても、活動を通じて夢を応援することができました。

一人一人が自分らしく輝き、未来へのかけ橋となれるよう、今できることを行っていききたい、と思っています。

【寄稿：「うみねこの会」会長 山下タエ子氏】